

備前市施策評価シート

(平成20年度事業)

施策名 (小項目)	道路	コード	作成者	役職	都市整備課長
		01-01-11	氏名	高橋昌弘	電話

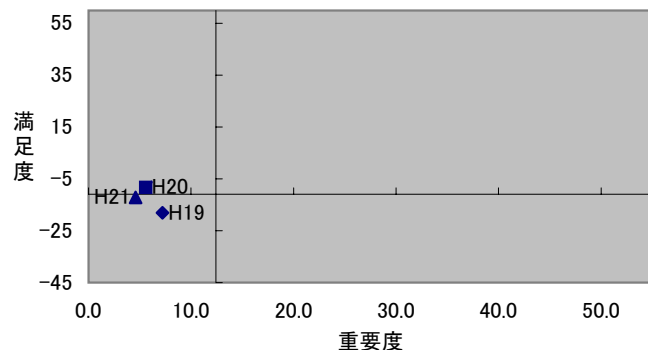
備前市総合計画の内容から記載する

政策の体系	大項目(基本目標)	安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目(基本施策)	生活しやすいまちづくり

① 施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	市民はもとより、観光等で備前市を訪れる道路利用者全ての人が安全安心して円滑に通行できるよう整備、維持管理をしていく。
② 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	本市の道路網は、山陽自動車道をはじめ市内を東西に横断している国道2号を軸とし、その他の国道や県道により骨格が形成されているが、現在の車社会では、多くの道路で渋滞、事故等が発生し、何らかの形で弊害もたらされている。特に、国道2号は、朝夕の通勤時間帯の渋滞が著しくこれに流入する各道路にも影響を及ぼし、日常生活に支障をきたしていることから国道2号の整備が急務であり、その他幹線道路の改良も必要であります。また、市道においては、生活道路として日常的に市民が最も多く利用していることから、道路拡幅等地域の実情に合った整備に努めていく必要がある。また、架橋事業の早期事業完了が望まれている。
③ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> <li>国道2号については、渋滞緩和と活性化を図るため整備促進を国に強く要望する。</li> <li>国道250号については、交通安全施設及び道路拡幅改良やバイパスの検討について関係機関に要望する。</li> <li>日生地域の渋滞緩和など安全安心のまちづくりの観点から県道寒河本庄岡山線の早期完成を県に要望する。</li> <li>生活道路は、国の補助制度を有効に活用するとともに地域住民の協力を得ながら整備促進に努める。</li> <li>交通弱者の安全を確保するため主要道への歩道整備を促進する。</li> <li>市道の維持管理に努めるため、ボランティア推進事業を推進し、協働による市民参加で環境美化に努める。</li> <li>日生頭島線第2区間の早期完成を目指す。</li> </ul>

④ 市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H19	H20	H21	H22
重要度(%)	7.2	5.6	4.6	
満足度(%)	-18.1	-8.3	-12.1	



高 満 足 度 ↑ ↓ 低	<p>&lt;見直し領域&gt; その施策や事業が必要か否かの検討が必要</p> <p>&lt;維持領域&gt; 現状の方向を継続</p>
平均	<p>&lt;検討領域&gt; その施策や事業の存続の検討が必要</p> <p>&lt;強化領域&gt; 内容等を見直し、市民満足度を高める事業を行う</p>
低 ← 重要度 → 高	

調査結果に対するコメント、市民の反応等	道路に対する市民からの要望は非常に多い。重要度、満足度が低いのは、生活道路については概ね整備ができていたためと思われる。
調査対象でない施策は、市民の反応等	

⑤ 施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績		評価年度	成果指標・計算式・ベンチマークの説明	目標値	
		H18	H19	H20		H21	H22
成果指標 道路改良率(3.5m以上)	目標	%	65.0	65.0	65.0	H21	65.0
	実績	%	67.0	63.0	81.0	H23	70.0
	達成率	%	103.1	96.9	124.6	H28	75.0
	ベンチマーク					-	-
参考指標① ボランティア参加団体年間活動回数	目標	回	120	130	160	H21	180
	実績	回	120	151	185	H23	180
	達成率	%	100	116	116	H28	200
	ベンチマーク					-	-
参考指標② 道路舗装率	目標	回	81.0	81.0	81.0	H21	84.0
	実績	回	80.4	80.5	83.3	H23	85.0
	達成率	%	99.3	99.4	102.8	H28	90.0
	ベンチマーク					-	-
参考指標③ 架橋事業進捗率(事業費ベース)	目標	%	2.3	7.1	9.4	H21	11.0
	実績	%	0.9	3.4	7.7	H23	54.0
	達成率	%	39.1	47.9	81.9	H26	100.0
	ベンチマーク					-	-

⑥ 施策構成事務事業の評価

施策を構成する事務事業	事務事業 評価結果 A~E (高~低)	細事業	事業分類	事業費等(単位:千円,人)									経費の性質 ☆~☆☆☆☆	平成21年度 5月補正後 予算額 ※一財ベース	
				平成18年度			平成19年度			平成20年度					
				直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数			
1 国道等整備促進事業	C	国道2号(岡山県東部)整備促進期成会負担金	単市	200			200			200	92		☆☆☆☆	義務的	677
		国道2号(岡山県東部)整備促進期成会事務	単市	0			0				395		☆☆☆☆	義務的	
		国道2号(岡山県東部)整備促進要望事務	単市	0			0				224		☆☆☆☆	義務的	
		国道374号整備促進期成会会費	単市	60			50			50	0		☆☆☆☆	義務的	
		国道374号整備促進要望事務	単市	0	3,174	0.33	0	1,358	0.15		46	0.13	☆☆☆☆	義務的	
		国道250号整備要望事務	単市	0			0				0		☆☆☆☆	義務的	
		道路整備促進同盟会・全国協議会要望事務	単市	0			0				91		☆☆	義務的	
		(社)日本道路協会負担金	単市	30			30			30	0		☆☆	義務的	
		中国国道協会会費	単市	80			80			60	0		☆☆	義務的	
		中国横断自動車道建設促進岡山県期成会会費	単市	2			2			2	0		☆☆	義務的	
2 県道改良事業	C	道路改良県工事負担金	法定	9,109	1,697	0.19	18,021	1,091	0.11	20,130	197	0.03	☆☆☆☆	義務的	1,100
		県道改良要望事務	法定	0			0			0	513	0.06	☆☆☆☆	義務的	
3 県道整備促進事業	C	県市町村道整備促進期成同盟会負担金	単市	15			15			15	29		☆☆☆	義務的	156
		中部高原地域整備促進期成会負担金	単市	50			50			50	105		☆☆☆	義務的	
		研修会等参加負担金	単市	10	0	0.23	10	859	0.11	10	22	0.01	☆☆☆	義務的	
		県土木協会会費	単市	50			50			50	0		☆☆☆	義務的	
4 県道維持管理事業	D	岡山アダプト推進事業事務	補助	0	3,450	0.35	0	473	0.05	0	624	0.04	☆☆☆☆	義務的	677
		岡山ロードサポート事業事務	補助	0			0			0			☆☆☆☆	義務的	
この施策に費やした資源(単位:千円,人)				平成18年度			平成19年度			平成20年度				計	
				698,555	66,974	9.89	435,107	65,978	9.46	501,752	67,453	9.59			349,558

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
国・県	それぞれの管理区間との連携	連携を密にすることにより、線のだけでなく面的な整備を進めていく
地元区会	道路管理のためのボランティアの推進	公共物に対する愛着心を養い、維持管理費の軽減を図る

⑧ 施策の評価

項目	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い			
	一次評価		二次評価	
	評価	判断理由	評価	判断理由
1 役割分担の妥当性 (市の関与、協働の可能性)	4	市民との協働による道路の維持管理活動が増えつつある。	4	ボランティア参加団体が増加し、協働による活動が進みつつある。
2 事業構成の妥当性 (実施手段)	3	概ね妥当である。負担金等については他市の状況も見ながら廃止、縮小も検討したい。	3	概ね妥当
3 施策の有効性 (指標分析、評価年度・中長期の達成度)	3	ボランティア参加団体の活動回数は、達成している。また、架橋事業は昨年を上回り目標達成は可能である。	3	同左
担当への指示 (今後の展開、事業見直し、新規事業創出等)	財政難の今日、道路整備については、緊急性や費用対効果を十分に考慮し実施するよう心がけること。また、維持管理面では広報活動等を通じボランティア団体が増えるような方法を検討のこと。		架橋事業は、目標達成は可能であるが、用地買収を進めて欲しい。限られた予算ではあるが、緊急性や費用対効果を勘案して実施のこと。	
二次評価者コメント 役職 産業部長 氏名 玉垣 和志	道路に対する市民の要望は多いが、限られた予算の中、維持管理費のコスト削減を図り、協働による市道管理を進めるためにも、ボランティア推進事業補助金や原材料費を増額する必要がある。		基本施策への貢献度	翌年度予算の方向性
		4 やや高い	平均を上回る配分	

施策名 道路

(平成20年度事業)

⑥ 施策構成事務事業の評価(続き)

記入しきれない場合の続き

所属長評価

施策を構成する事務事業	事務事業評価結果 A~E (高~低)	細事業	事業分類	事業費等(単位:千円,人)									施策への貢献度 ☆☆☆☆☆ ~ ☆	経費の性質 義務的計画事業 その他	平成21年度 5月補正後 予算額 ※一財ベース
				平成18年度			平成19年度			平成20年度					
				直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数			
5	道路等新設改良事業	道路新設改良事業	補助	137,070			98,479			83,349			☆☆☆☆☆	計画事業	163,856
		橋梁新設改良事業	補助	98,608	21,576	3.32	80,931	24,302	3.96	0	26,684	4.21	☆☆☆☆☆	計画事業	
		用地購入等事務	補助	8,200			0			6,144			☆☆☆☆☆	計画事業	
6	道路等維持管理事業	道路維持管理事業	単市	19,221			36,807			41,201			☆☆☆☆☆	その他	20,544
		橋梁維持管理事業	単市	0	5,416	1.48	441	10,544	1.41	3,141	9,386	1.18	☆☆☆☆☆	その他	
7	市道等管理事業	市道等管理事業	法定	5,758			6,368			4,686			☆☆☆	その他	7,912
		道路占用許可事務	法定	0			0			0			☆☆☆	人件費のみ	
		市道水路占用許可事務	法定	0			0			0			☆☆☆	人件費のみ	
		官民境界事務	法定	0			0			0			☆☆☆	人件費のみ	
		道路用途廃止事務	法定	0	16,308	2.23	0	10,204	1.34	0	12,507	1.79	☆☆☆	人件費のみ	
		市道認定・市道編入事務	法定	0			0			0			☆☆☆	人件費のみ	
		特殊車両通行許可事務	法定	0			0			0			☆☆☆	人件費のみ	
		道路台帳補正事務	単市	2,866			2,446			5,881			☆☆☆☆☆	その他	
8	協働による市道等管理事業	道路河川等ボランティア推進事業補助金	単市	996	2,073	0.21	1,314	932	0.12	1,567	572	0.10	☆☆☆☆☆	その他	2,000
9	道路・橋梁新設事業	測量調査設計業務	補助	0			88,318			132,720	2,890		☆☆☆☆☆	計画事業	122,063
		日生頭島線新設工事	補助	0			36,800			167,032	2,641		☆☆☆☆☆	計画事業	
		日生頭島線用地購入事務	補助	0	9,060	1.10	0	11,082	1.51	15,101	844	1.43	☆☆☆☆☆	計画事業	
		道路新設改良事業	補助	155,280			0			0	0		☆☆☆☆☆	計画事業	
		橋梁新設改良事業	補助	155,280			0			0	0		☆☆☆☆☆	計画事業	
		日生頭島線関連事務	補助	77,640			0			5,879	4,539		☆☆☆☆☆	計画事業	
10	道路・橋梁新設関連事業	測量調査設計業務	補助	0			29,435			5,828	1,000		☆☆☆☆☆	計画事業	30,573
		日生頭島線新設工事	補助	0			8,405			8,395	1,694		☆☆☆☆☆	計画事業	
		日生頭島線用地購入事務	補助	0	4,220	0.45	26,825	5,133	0.70	0	0	0.61	☆☆☆☆☆	計画事業	
		道路新設改良事業	補助	11,200			0			0	0		☆☆☆☆☆	計画事業	
		橋梁新設改良事業	補助	11,200			0			0	0		☆☆☆☆☆	計画事業	
		日生頭島線関連事務	補助	5,600			0			201	2,358		☆☆☆☆☆	計画事業	